

内装士資格検定試験を実施

インテリアプロの誇りを持って

日装連は「第31次日装連ID(インテリアデコレーター=内装士)資格検定試験」を10月4日、全国一斉に実施した。実施した会場は15組合・13会場、受験者数は前回は10名を上回って32名と増加した。

トップは四国と九州ブロック

今回の内装士資格検定試験の特徴を見てみる。まず、受験者数が32名と前回は10名を上回った。このところひさしぶりに増加傾向をみた。内装士に対する意義への理解が組合員へ浸透したからだろう。

受験組合数は15組合(前回10組合)、性別では男性27名(同16名)、女性5名(同6名)だった。男女の比率の特徴は変わらず、男性が多い。女性がもう少し増えてもいいのではないだろうか。

平均年齢は男性44歳(前回36歳)、女性37歳(同39歳)だった。男性がやや高くなっている。

受験者数についてはブロック別では、トップは九州ブロックと四国ブロック、それぞれ7名だった。

近畿ブロックがトップになることが多かったし、四国ブロックと九州ブロックももともと比較的多かったが、今回はトップに踊り出た。前々回ではゼロだった九州ブロックは前回4名、今回7名と徐々に増えている。四国は前々回2名だったが、前回4名、今回7名とこれまた増えている。

このような傾向をみると、近畿ブロックは今回2名と少なかったものの、内装士試験への取り組みはもともと強かったことがわかる。九州ブロック、四国ブロックはこれを機にさらに受験者数を増やすだろう。

以下、多い順に中国ブロック5名、関東ブロック4名、北信越ブロック4名、近畿ブロック2名、中部ブロック1名、東北ブロック1名、北海道ブロック1名となっている。

組合別では、徳島組合5名、福岡組合5名でトップを占める。今回の中国ブロックと九州ブロックがトップになるのに大いに寄与している。

順に三多組合3名、長野組合3名、宮崎組合2名、鳥取組合2名、以下、北海道、青森、群馬、富山、愛知、大阪、兵庫の各組合が1名となった。

関東ブロックでは三多摩が健闘して3名の受験者となった。

日装連新聞(437号)より引用